

(6) ^{おおみず}大水をふせぐしくみ

- ◆ あぶくま川が大水になったときのれんらく



- ◆ 大水になったときに、どうするか。
 - さいがいたいさく本部をつくる
 - ぼうさい会ぎをひらく
 - ・町長 ・かくかのか長
 - ・消ぼうだんかんぶ
 - ・消ぼうだんの人たちがぼうさいにあたる。

- ◆ 大水のひがい



水位観測所 (伏黒)

年	こう水のようす
1890 (明治23年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ あぶくま川の大こう水 ・伏黒・中瀬の家がやく40戸流されたり、水につかる。 ・あぶくま川の川すじがいまのようにかわる。
1921 (大正10年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ たびたびこう水がある。 ◆ 新しいていぼうづくりをはじめる。
1938 (昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ あぶくま川・すり上川のこう水 ・志和田、川原町の田・畑が流されたり、水につかる。 ・さいわい橋が流される。 ・中瀬のていぼうがやく250メートルされる。1戸流される。
1986 (昭和61年)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ こう水になる。 ・田畑が水につかる。 ・家が44戸水につかる。 ・伊達橋がつうこう止めになる。



さいわい橋のりゅうしつ (昭和13年)



こわれたていぼう (昭和13年)